

YOSAKOIソーラン祭りの参加者意識考

お茶の水女子大学大学院修士課程
平田利矢子

1. 研究目的

札幌で行われるYOSAKOIソーラン祭りは、今年で6回目を迎え、過去最多の183チーム、約1万9千人が参加し、平成9年6月6・7・8日(3日間)にわたって市内16会場で熱い乱舞が繰り広げられた。私は、YOSAKOIソーランチーム「函館踊る魂いさり火」に振り付けを依頼され2月から6月まで月に1回、函館にて振り付け指導を行った。このチームは、10~60代の男女約140人で編成されており、ほとんどがダンス未経験者だが踊ることの好きな人の集まりである。この振り付けを通して、YOSAKOIソーラン祭りの本質は、舞踊による人間の生命の燃焼であると強く実感した。本研究では、私自身が指導を行った、YOSAKOIソーランチームの受賞作品の練習過程を紹介し、なぜこの祭りが、人々の心を熱くするのか、参加者の意識を探ることを目的とする。

2. 研究方法

予備調査としてYOSAKOI祭りのビデオ・雑誌・パンフレットなどの資料から祭りの全体像を探る。

指導者としての実体験(練習過程)・調査・インタビューをもとに参加者の意識を考察する。

3. 結果及び考察

(1) YOSAKOIソーラン祭りの概要

①YOSAKOIソーラン祭りの出発

高知のよさこい祭りは、昭和初期、戦後の混乱と低迷冷めやらぬ時代、不景気にあえぐ市民に活力を与えた祭りである。この祭りを平成3年に1人の学生が見て「このパワーを札幌でも実現したい。」という願いから、YOSAKOIソーラン祭りが誕生した。

②舞踊構成

参加条件として、「曲の中にワンフレーズ、ソーラン節が折り込まれていること」「手には、鳴子を持っていること」があげられるが、その他は自由である。各チームが、踊り・曲・衣装にいたるまで、実にさまざまな創意工夫を持って、この祭りに挑む。これまでの伝統的な行事が形式を重んじるのに対し、実に柔軟性に富み、参加者の独創性に委ねられた祭りである。振り付けは、ソーラン節本来の姿であるニシン漁の綱引きや樽漕ぎの様子を再現した動きを中心に、ジャズダンス、エアロビクス、歌舞伎、日本舞踊などの動きで構成されている。曲は、労働歌「ソーラン節」をベースに、和太鼓、三味線、笛等の日本的な音を重ね、

さらに、ビートのきいたロックやラップ、サンバ、ジャズをミックスする等、様々な工夫が見られる。衣装は、漁師をイメージしたハッピーが主流であるが、忍者、歌舞伎、弁慶など和風をイメージして作るチームや、完全に洋風なチームもあり、実に多様化している。

③参加者の傾向

参加者は、10~70代の幅広い年齢層で、市内は20代、道内(市外)は40~50代が多い。また、体力・舞踊経験が異なる様々な男女で構成されており、男女の比率は3:7である。

(2) 作品に見る参加者意識

「この魂燃えつきるまで~我ここにあり~」をテーマに「生き様」を表現した。振り付けは、力強さや情熱が強調されるよう、突き進む・突き破る・静める・乱れるなどの動きを取り上げ、どのような動きが踊り手に生きるか実験しながら、作品を固めていった。この練習の中で、参加者の意識に変化が見られた。最初は楽しい・面白いと好意的だったものが、中頃になると辛い・難しいとマイナスの意識が増大した。その要因として、高齢者達は、体力が持たない、身体が思うように動かないという体力的な面を挙げ、若年者は、運営上の人間関係からくるストレスという精神的な面を挙げた。しかし、後期には両者とも自分の壁を乗り越え、意識は充実・快感という言葉に変化する。

このことから、練習を通してマイナス意識がプラス意識へ変化したことが考察できた。

(3) 参加者の意識

初めてYOSAKOIと出会った時、感動や迫力、「一体感を味わいたい」「自分もできそう」「楽しそう」「踊ってみたい」と思ったという声が多かった。また、参加後の意識としては、感動、快感という「生きがい」を感じる意見や、幅広い年齢層の人との出会い、助け合いを通じての「交流関係」、若返る、リフレッシュするなど「健康促進」を実感する意見が見られた。踊りに対する意識としては、楽しい、陶醉できる、かっこいい、燃えるという好意的な意見が多く、その他の要因の衣装や曲も魅力的という意見もあり、祭り全体がとても好感をもたれていることが考察できる。

4. 結論

約150万人の観衆を動員したこの祭りの参加者は、日常にない熱気に満ち、乱舞を繰り広げる。

参加者は、この祭りを通して「快感・感動」という生きがいを求め、踊りを通して自分を表現し、衣装を身に付けることによって、非日常の自分を求めている。参加者の意識から、「熱する場」をこの祭りに求めていることが分かった。今後、舞踊における熱する心の根源を追求することを課題とする。